

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

② 施設・事業所情報

| | | |
|--------------------------------|---|----------------------|
| 名称：にじいろ保育園稲田堤 | 種別：認可保育園 | |
| 代表者氏名：岡田 倫子 | 定員（利用人数）： 60（58）名 | |
| 所在地：〒214-0004 川崎市多摩区菅馬場1-23-32 | | |
| TEL：044-299-8583 | ホームページ： https://www.like-kd.co.jp | |
| 【施設・事業所の概要】 | | |
| 開設年月日 2018年4月1日 | | |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：ライクキッズ株式会社 | | |
| 職員数 | 常勤職員： 14名 非常勤職員 8名 | |
| 専門職員 | （専門職の名称） 名 栄養士 2名 | |
| | 保育士 11名 | |
| | 看護師 1名 | |
| 施設・設備 の概要 | （居室数） | （設備等） |
| | 保育室（6室）、職員室、相談室、休憩室、更衣室、給食室、沐浴室、調乳室、シャワー室 | 空気清浄機、クレベリン置き型、防犯カメラ |

③理念・基本方針

保育理念：「のびやかに育て だいちの芽」
温かな環境の中で、一人ひとりの心に寄り添い人や物、自然との豊かな出会いや体験を通して生きていく力を育てる事を保育理念としている。

基本方針：みとめ愛・みつめ愛・ひびき愛（信頼、安定、共感）
・自分らしさを発揮しながら、相手を尊重し、信頼し合い、自分の事も友達の事も好きと云える子ども。
・いつも見守られ、見つめられている安定した空間の中で、心身共に健やかな子ども。
・響きあい共感しあう歓びを自信に繋げ、力強く逞しく生きていける子どもを目指している。

④施設・事業所の特徴的な取組

・地域的に自然に恵まれた多摩川・ニヶ領用水や特産物の梨畑等があり、散歩時は季節を感じながら身体作りに励んでいる。

・幼児組は、曜日・時間を決めて音楽リズムやリトミックを行っている。音楽をよく聴き、音楽に反応して身体表現をすることで集中力、思考力、表現力を育てている。

・年長組は、毎月の製作を折り紙製作に取り組んでいる。楽しみながら、図形への理解を深め、形の変化に興味を持ち、折り合わせたり手順を守ったりする中で、手先の器用さや集中力を養っている。

・玄関入り口に地域で釣った魚（ドジョウ・おいかわ・メダカ・ザリガニ）カブトムシ・カエル等展示し、生き物に対する興味、関心を育てている。観察しながら解らないことがあると図鑑で調べるようになり、乳児組の子ども達や保護者様にも癒しの空

間になっている。

・園庭に花壇を作り季節の花や野菜を栽培し、収穫した野菜は、給食に提供している。また、今年はサツマイモを栽培し、食育にも力を入れている。

⑤第三者評価の受審状況

| | |
|---------------|--|
| 評価実施期間 | 2023年 6月 7日（契約日）～ 2023年 12月 8日（評価結果確定日） |
| 受審回数（前回の受審時期） | 1回（令和2年度） |

⑥総評

◇特長や今後期待される点

特長

地域情報の提供や地域への貢献に積極的である

園のエントランスには、地域の子育て施設や子ども相談室、地域療育センター、児童発達支援センターなどの情報をはじめ、子育て祭り、市の人権に関する内容、福祉の相談窓口などの掲示や市のガイドブックなどの冊子・チラシの設置を行っており、保護者へ多くの地域情報の提供を行うようにしている。また、園の外玄関の掲示板には園開放や園の育児相談、絵本貸し出しなどのスケジュールカレンダーを掲示し、地域親子向けの地域ふれあい会を開催するなどして、地域の貢献に努めるようにしている。

自然との触れ合いを大切にした保育を実践している

近隣には川なども多くある環境で、子どもたちは季節を感じ自然に触れながら生活することができている。園内においても魚などの生き物を飼育するスペースが設けられており、興味を持ちやすい環境が整えられている。近隣農家の協力により、ミカンや柿など季節の果物を収穫したり、七夕の笹を提供してもらうなど子どもたちが様々な体験の機会を持つことができている。

基本的な生活習慣の大切さについて、子どもにわかりやすく伝えている

生活習慣の大切さについて伝えるために、看護師からの健康教育、栄養士からの食育活動などを保育に取り入れ、担任保育士からだけでなく専門職の協力を得ながら子どもにわかりやすく伝え、楽しみながら習慣として身につくような取り組みを行っている。取り組みの様子は掲示や配信で保護者に伝えられ、喜ばれている。

今後期待される点

計画や会議に職員の意見を反映させる工夫や、中間での計画内容の見直しを行うことが望まれる

年間保育指導計画や月案、週案などの保育に関わる計画などは、職員からの意見を反映させているが、単年度事業計画や園の自己評価など、職員からの意見が出せる場を設けることが望まれる。職員会議などで職員からの意見が少ないことも課題となっているため、職員が意見を出せるような工夫の検討が望まれる。また、中長期計画や単年度事業計画、職員育成年間研修計画などでは中間での見直しなどが行われていないことが見受けられるため、PDCAサイクルが機能するような見直しの検討が期待される。

保護者アンケートの意見について検討されることに期待したい

今回実施した保護者アンケートにおいて全体的な満足度は大変高く、園の取り組みや活動内容に対する感謝の声が多く聞かれている。一方で、「職員の言葉遣いや態度、服装について」の設問では気になる意見も聞かれていることから、内容について検討

するとともに駆体的な改善策を講じることや、保護者へのフィードバックにも期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園6年目を迎え、地域に根差した保育園となるように努めているが、保護者様からのご意見は、真摯に受け止め、また、事業計画・中長期計画の中間見直し、フィードバックがなされていないとの指摘は、早急に協議し改善に努め、保育の質を高めていけるよう職員と共有化する。

第三者評価の結果に対して、保護者・職員・地域の方々の「声」を大事に、解り易く説明するとともに開かれた保育園となるよう今後も邁進していきたい。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり